

## 平成20年度一般病棟で提供される医療の実態調査の概要

### 1 目的

一般病棟入院基本料のうち、13対1入院基本料、15対1入院基本料を算定する病棟について、実態を調査し、診療報酬改定の検討資料とすることを目的とする。

### 2 調査項目及び調査内容

平成18年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査の方法を参考とし、医療機関の特性、職員業務量、患者構成、コストの変動等、一般病棟入院基本料のうち13対1入院基本料、15対1入院基本料を算定する医療機関の実態の調査を実施。

調査施設数、調査内容については以下のとおり。

(1) 調査施設数(13対1入院基本料算定施設250施設、15対1入院基本料算定施設500施設)

#### (2) 調査内容

##### ① レセプト調査

一般病棟入院基本料のうち13対1入院基本料、15対1入院基本料が算定されている入院患者を対象として、平成21年1月診療分の診療報酬明細書を用い、入院基本料・加算等算定状況、処置・リハビリテーション等の実施状況について調査を実施。

##### ② 施設特性調査

平成21年3月1日時点で一般病棟入院基本料のうち13対1入院基本料又は15対1入院基本料を算定している保険医療機関を対象に、救急体制、職員配置の変動及び入退院患者数、入院元・退院先、入退院理由などの入退院患者の状況について調査を実施。

##### ③ 患者特性調査

平成21年3月1日時点で施設特性調査を行う医療機関に入院している患者に対し、年齢・入院期間・状態等の基本属性や、提供されている医療サービスの内容について調査を実施。

##### ④ コスト調査

平成20年10月1ヶ月における一般病棟入院基本料のうち13対1入院基本料又は15対1入院基本料を算定している保険医療機関を対象に、調査対象医療機関の人件費、減価償却費、医薬品費、材料等の払出量等について調査を実施。